

令和2年6月14日（日曜）長崎新聞

折れていなくても受診を

かで状況が変わってきます。

△衝撃を歯が折れることで吸収(歯の破折)△歯が動搖することで吸収(歯の脱臼・不完全脱臼・打撲)△歯が折れることが動搖することの両方で吸収などがあります。



【問い合わせ】子どもが転んで、歯をぶつけてしまいました。唇が少し切れていますが、歯は折れていません。痛みもありません。歯医者に行かないといけないでしょうか。（長崎市、28歳女性）

【答え】転んだり、ぶつかたりして歯や口を打つけがたりやすいものです。一見問題はないようでも、時間がたつて問題を起こす場合もありますので、歯科を受診し確認してもらってきてください。顔の皮膚の外傷で傷が深い場合や、ひどく腫れている場合は、外科や形成外科の受診も検討してください。

口の中のけがには、歯肉などの口腔軟組織の外傷と、歯の外傷があります。皮膚や軟組織の外傷は、出血するので分かりやすいと思います。「唇が少し切れている」とのことですが、傷が浅く既に止血している場合は消毒して様子を見ることもあります。状況により判断することになります。

一方、歯の外傷は、打った際の衝撃をどこで吸収している

かで状況が変わってきます。
歯と口の健康に関する質問を受け付けます。県歯科医師会の先生方が回答します。（直接本人に回答はしません）。症状などを分かりやすくまとめ、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、〒852-8601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「お口の相談室」係に送つてください。県歯科医師会のホームページは「8020ながさき」で検索できます。

質問をどうぞ

回答者

原口 誠二
（はらぐち せいじ）
長崎市かき道2丁目
はらぐち歯科医院院長



歯と口の健康に関する質問を受け付けます。県歯科医師会の先生方が回答します。（直接本人に回答はしません）。症状などを分かりやすくまとめ、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、〒852-8601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「お口の相談室」係に送つてください。県歯科医師会のホームページは「8020ながさき」で検索できます。